

志	な	も	表	の	品	く	た	ち	原	時	い	学		る	し	こ				生
半	え	、	情	の	の	、	。	と	爆	十	た	し	一	こ	さ	と	今			き
ば	た	大	で	隣	隣	原	そ	同	の	五	服	ま	日	が	を	な			て	
で	か	切	写	に	に	爆	の	じ	展	分	や	した	目	で	、	の			い	
、	っ	な	っ	展	展	の	服	中	示	の	鞆	。	平	き	か	私			る	
亡	た	家	て	示	さ	恐	は	学	さ	ま	、	和	ま	。	は	私			と	
く	夢	族	い	さ	れ	ろ	、	生	を	の	また	公	、		、	は			い	
な	があ	や	る	て	いた	し	きれ	の	知	時	、	園	原		生	、			う	
っ	つ	、	写	いた	、	さを	いと	学	り	計	原	内	爆		き	、			こ	
て	た	掛	真	、	その	を	はい	徒	ま	な	が	は	投		て	い			と	
い	んだ	け	を	帽子	中	知	える	服	した	ど	投	被	下		る	る			が	
っ	ら	替	見	を	学	り	もの	が	。	が	爆	さ	され		こ	こ			ど	
た	う	え	、	被	生	ま	では	展	そ	展	時	れた	午		と	と			ん	
方	な	の	私	り	の	した	な	示	の	示	に	前	前		の	の			な	
た	と	友	は	、	生	。	展	さ	中	さ	身	八	八		素	素			に	
ち	思	人	こ	凜	の	その	示	れ	に	れ	につ	、	、		晴	晴			尊	
を	い	や	の	と	生	展	は	て	、	て	け	私	私		ら	ら			い	
思	、	か	方	した	前	示	な	い	私	お	て	た	た		、	、			尊	
う			に	た	前	示	な	まし	た	り		、	、		感	感			い	
と			に	た	前	示	な	し	た	、		、			じ	、			、	

私は、せめて生きている事の喜びを噛みしめなければならぬのだとこころかそう思いました。また、なんの罪もない人の命をうばってしまふ原爆の恐ろしさを改めて知る事ができ、原爆を投下するというのはどういうことか、後世にも伝えていくことが、不可欠だと思いました。その後、聞かせて頂いた、被爆者の方のお話のなかで見せて頂いた、原子爆弾の熱で皮膚がとけてしまい、電車の中で白骨になってしまったという絵を見て、私は衝撃を受け心を痛めました。今、私達は、たいした不自由もなく暮らすことができています。戦時に生まれ育った方たちにとつては、このような生活は、羨ましいものだったのだと思います。昔の人々の大変な苦勞があったからこそ、今の私達は、生きていられているという事を決して忘れてはいけません。また、なんの罪もない多くの方が、一つの原爆で亡くなってしまうといふことをただの過去にしてはいけません。意

味ある過去にしななければなりません。私は、このことを決して忘れず、日々を過ごさなければなりません。後世に、原爆の恐ろしさ、命の尊さを伝えることは、私達の使命です。最後に、今生きている全世界の方々が、幸せに暮らせること、戦争で、亡くなってしまいう方を、一人でも多く減らすこと、そして、生きている人が生きる使命をもって、大切に人生を過ごすことができるよう、心から願っています。